

# 荷役作業時における労働災害を防ぐために

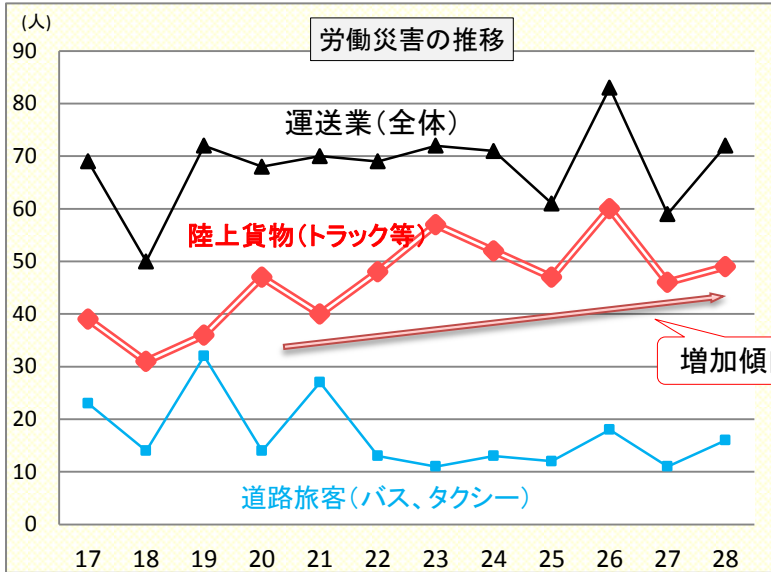


八王子労働基準監督署

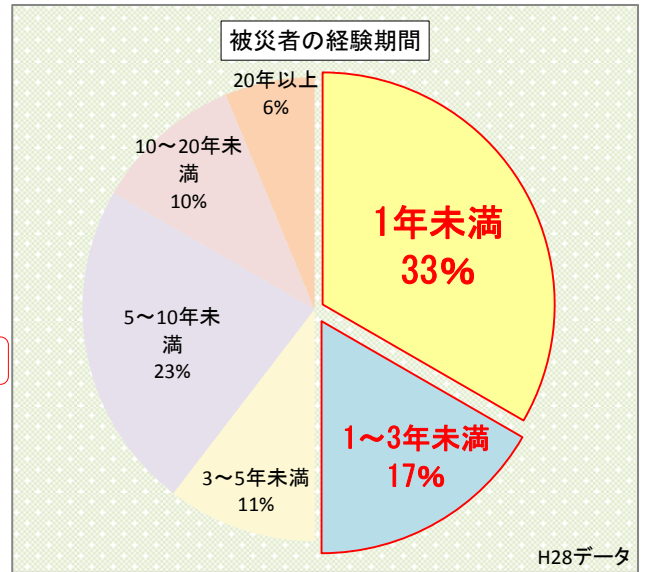
## <荷役作業の災害防止>

### 労働災害の特徴

#### ◇増減を繰り返しながら増加！

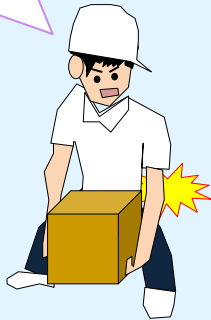


#### ◇被災者の半数が経験3年未満

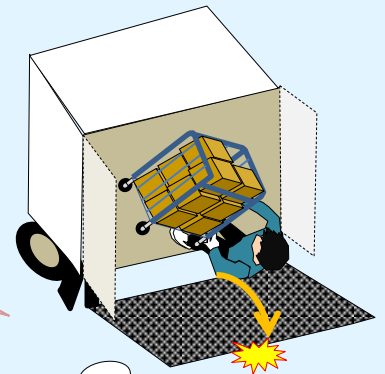


#### ◇荷役作業による労働災害が多くを占める

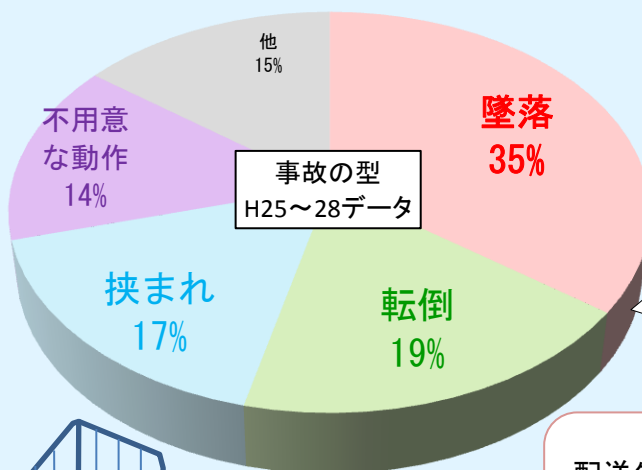
引越業務中、床の荷をひざを曲げずにかがんだ姿勢で持ち上げようとした際に、腰を痛めた  
【休業14日】



ロールボックスパレットを後ろ向きで搬出しようとした際に、テールゲートリフターが下がっていることを確認せず、後ろ向きで搬出しようし、足を骨折  
【休業2カ月】



ロールボックスパレットの稼働棚を戻そうとした際に、指を挟み指先端切断  
【休業1カ月】



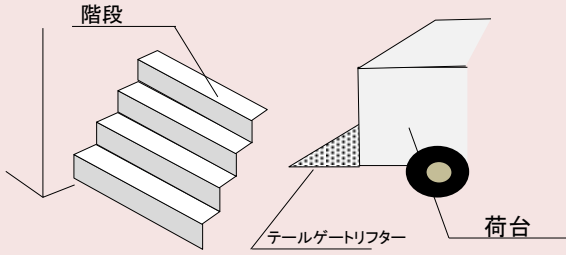
配送先アパートの階段を降りている際に、踏み外し転落し、足首骨折  
【休業2カ月】

雨天時の配達中、タイルに滑り転倒し、足首骨折  
【休業90日】



# 雇入れ時に“やらなければならない事項”、“やってはいけない事項”の教育を！

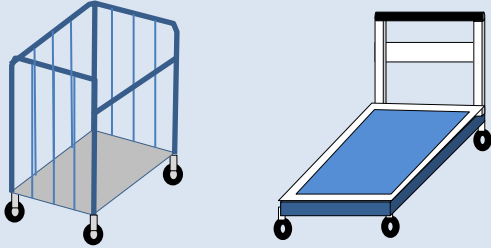
## 墜落・転落の危険がある荷台や階段等での作業



## 注意すべき事項(労働者の厳守事項)

- 降りる前に階段の踏み面を確認
- 荷台端部で背を向けない、後ずさりしない
- 飛び降りない
- テールゲートリフターのストッパーが出ていることを確認
- 荷台では押すことができる位置まで引き出してから押す

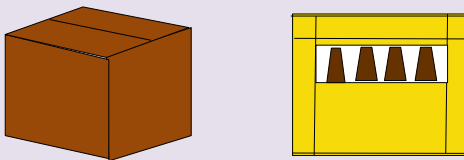
## 挟まれ等の危険があるロールボックスパレット、台車等の作業



## 注意すべき事項(労働者の厳守事項)

- 床・地面の凸凹等の確認
- ロールボックスパレットの安全な取扱い
- 安全靴、プロテクター等の保護具の着用
- 見通し悪い場所で一時停止、声かけ、カーブは減速
- 進行方向の視界の確保

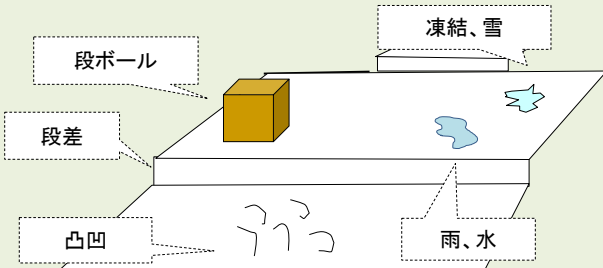
## 腰痛の危険がある荷姿の物の運搬作業



## 注意すべき事項(労働者の厳守事項)

- 荷の重さの把握
- 腰に負担の少ない荷の取扱(持ち方、姿勢等)の徹底
- 作業前に周辺の凸凹等の確認
- 長時間運転後は運搬作業前に小休止、ストレッチ実施

## 転倒の危険がある作業場所・箇所



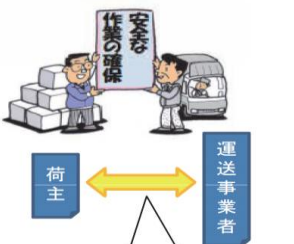
## 注意すべき事項(労働者の厳守事項)

- 作業前に周辺の足元(水気、段差等)を確認
  - ～ながら歩きをしない
  - 作業場、通路の整理整頓の徹底
  - 耐滑性、屈曲性安全靴の使用
- STOP!転倒災害プロジェクトに基づく取組の推進

## 荷役作業の安全対策ガイドライン

荷役作業での労働災害防止のため、陸運事業者、荷主、配送先、元請事業者が取り組むべき事項を示し

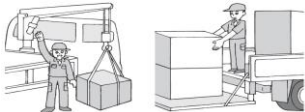
### 陸運事業者と荷主との連携



運送契約書を締結して、荷役作業の役割分担を明確化！

### 荷役作業の労災防止

- ・墜落・転落、転倒、腰痛
- ・機械(フォークリフト、クレーン等)
- ・ロールボックスパレット



### 安全衛生教育



詳しくはこちら

荷役作業 ガイドライン

検索

## 荷役作業の死亡災害の8割を占める5大災害

### 陸上貨物運送事業における

## 重大な労働災害を防ぐためには

荷役作業時の死亡災害にみる災害パターン別の主な原因と対策

労働災害は長期的には減少傾向にあります。陸上貨物運送事業における労働災害は引き続き多く発生しています。従業員が安全に、そして安心して仕事をを行うためには、運送事業者と荷主企業が協力し、徹底して労働災害防止に取り組む必要があります。

本冊子では、陸上貨物運送事業における労働災害について、平成25年に死亡災害にまつた実際の事例を紹介するとともに、災害パターン別の労働災害防止対策について紹介しています。



災害種別に  
応じた対策  
の推進を！

詳しくはこちら

陸上貨物 重大な労働災害 防ぐ

検索